

事務連絡
令和3年11月9日

各正会員
事務局責任者様

公益社団法人全国産業資源循環連合会
専務理事 森谷 賢

産業廃棄物処理業の景況動向調査報告書【2021年7-9月期】の送付について

当連合会の事業の運営につきましては、日頃から格別のご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、本調査の実施にあたり全産連発第132号(令和3年10月8日付け)にて貴協会会員企業にご協力をお願いしたところですが、今般、景況動向調査報告書【2021年7-9月期】がまとまりましたので、送付いたします。

報告書の概要版につきましては、連合会ホームページに掲載しておりますので、以下のURLをご参照ください。

【報告書概要版の掲載ページ URL】

<https://www.zensanpairen.or.jp/activities/report/>

今期から、回答者様からのご要望もあり、連合会ホームページから回答ができる『Web調査』に切替えを行いました。

次期(2021年10-12月期)につきましては、令和4年1月中旬頃に調査依頼を予定しておりますので、ご承知おきください。

(担当:本多)

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2021年7-9月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は282社から回答があった。景況判断DIは▲7(前期調査から11ポイント改善)となり、5期連続の改善となった。来期の見通しは▲13となり、6ポイント悪化する見込みとなっている。景況感は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで回復した。

そして4割以上の会社が、経営上の問題点として「修理、修繕費等の増加」、「従業員の不足」を挙げた。

以下、その他業況感DIの内訳

2021年4-6月期に対して、

- ・売上高DIは7で、20ポイント改善
- ・処理量DIは0で、13ポイント改善
- ・営業利益DIは1で、15ポイント改善
- ・資金繰りDIは3で、4ポイント改善
- ・借入難易度DIは9で、2ポイント改善
- ・設備投資DIは▲2で、4ポイント改善
- ・従業員数DIは0で、3ポイント改善
- ・契約単価DIは、収集運搬が0で、1ポイント改善

処分が5で、前期と変わらず

- 売上高の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で7.9%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で5.1%増となった。
- 経常利益率については、平均値が7.1%で前期調査(7.1%)と変わらず。

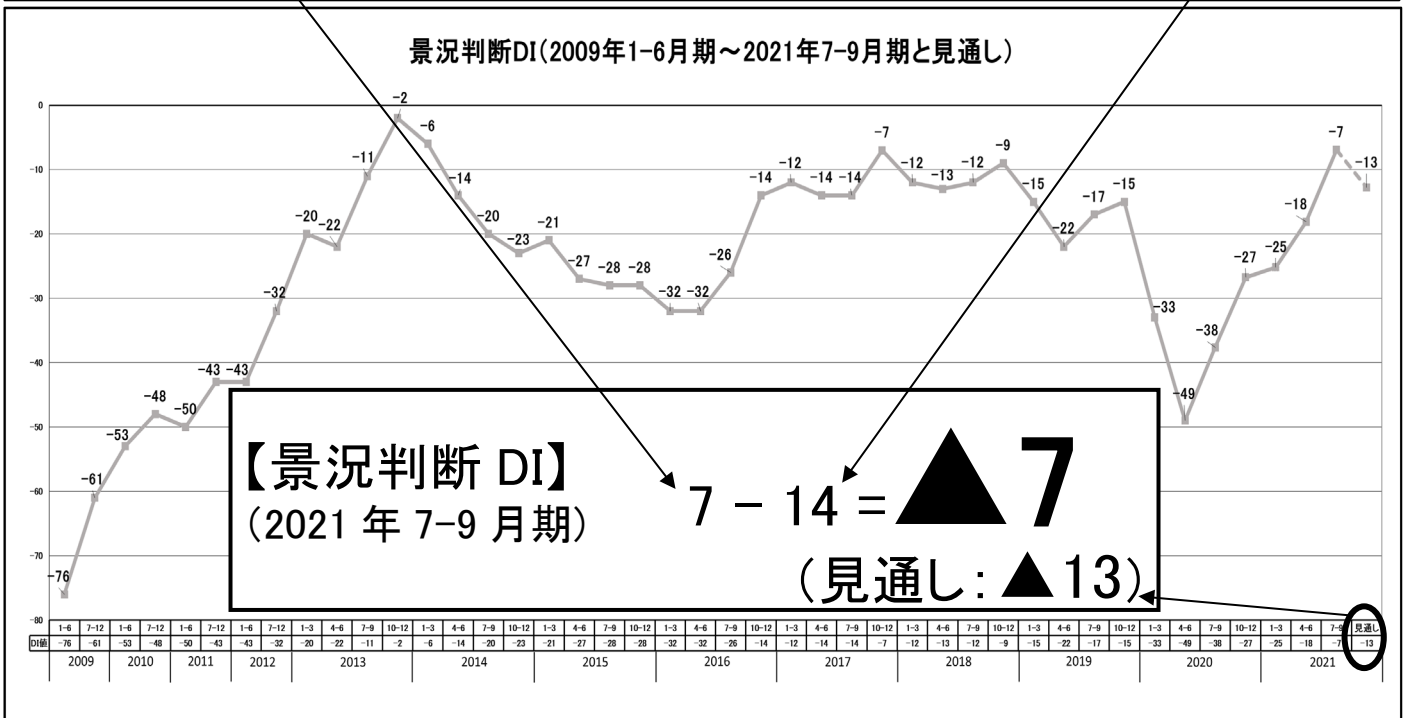
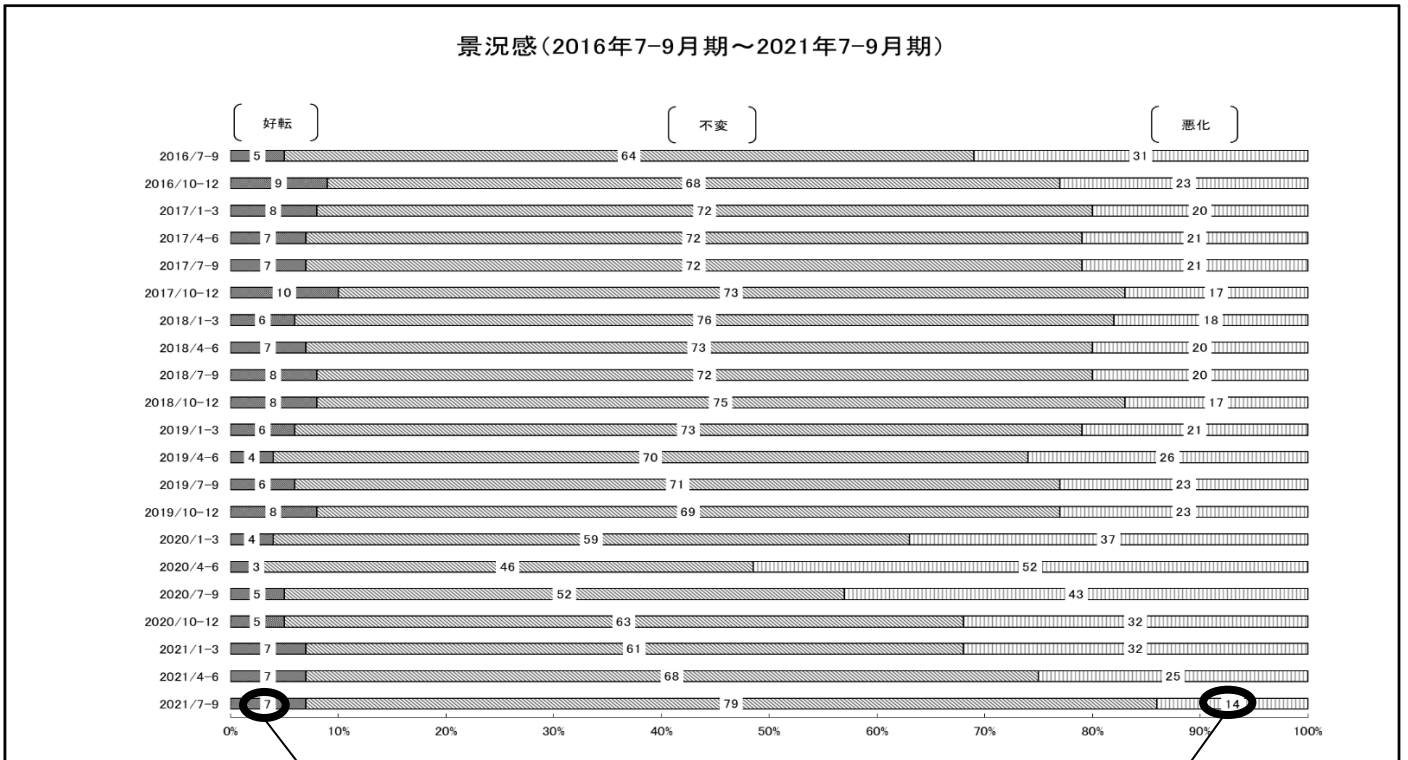
※DIとは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

※本調査は、2009年から半期周期の調査として実施していたが、2013年からは四半期周期の調査に変更している。

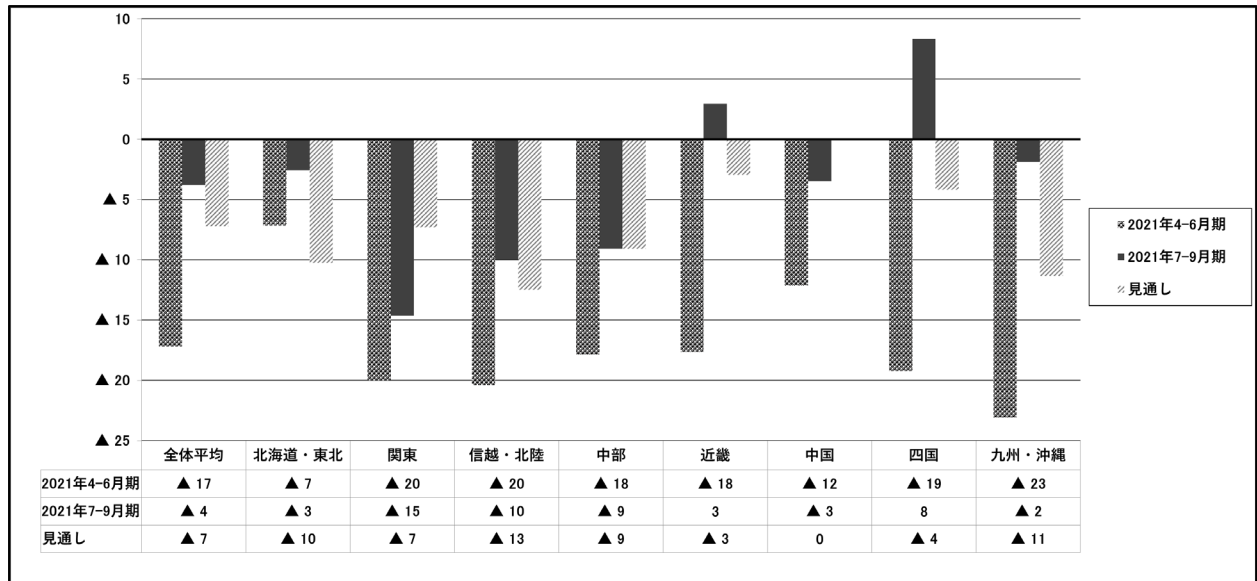
1. 景況感 DI(「好転」・「増加」―「悪化」・「減少」の企業割合)

(1) 景況判断 DI

- 景況判断 DI は▲7 となり、11 ポイント改善した。
見通しは▲13 となり、6 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI をみると、全ての地域で改善がみられた。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI 見通しをみると、「関東」、「中国」が、さらに改善する見込みとなっている。(3 ページ参照)



地域別景況判断 DI

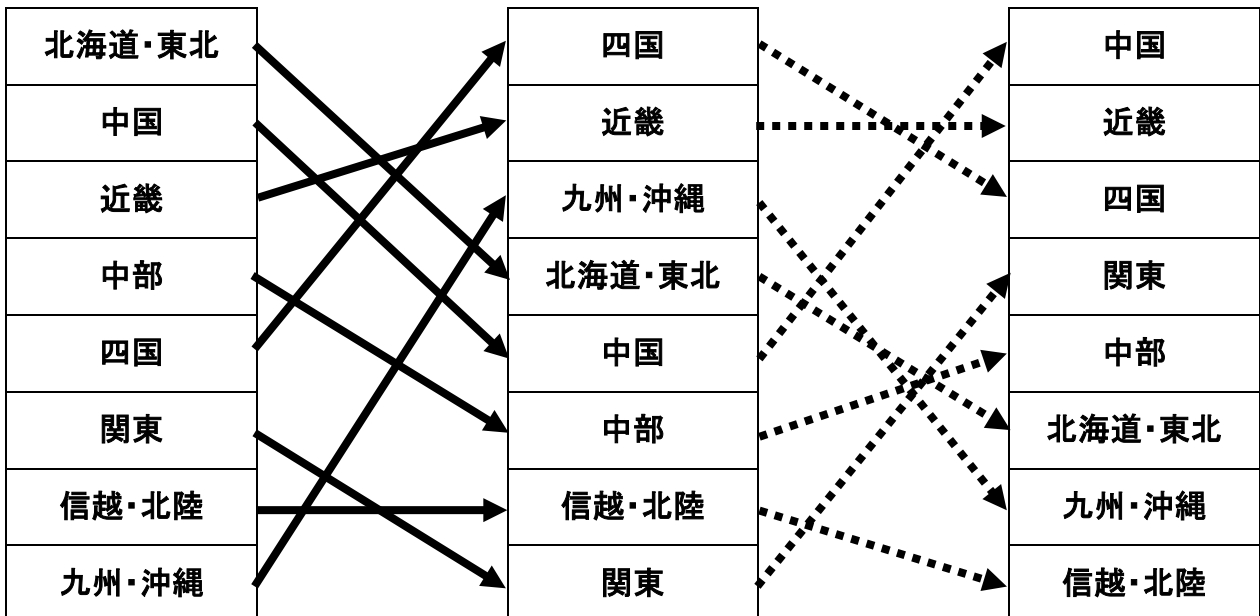


(ランキング推移)

2021年4-6月期
(前期)

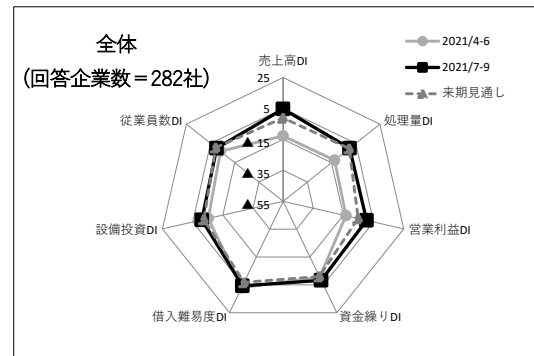
2021年7-9月期
(今期)

2021年10-12月期
(見通し)



(2) 売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI

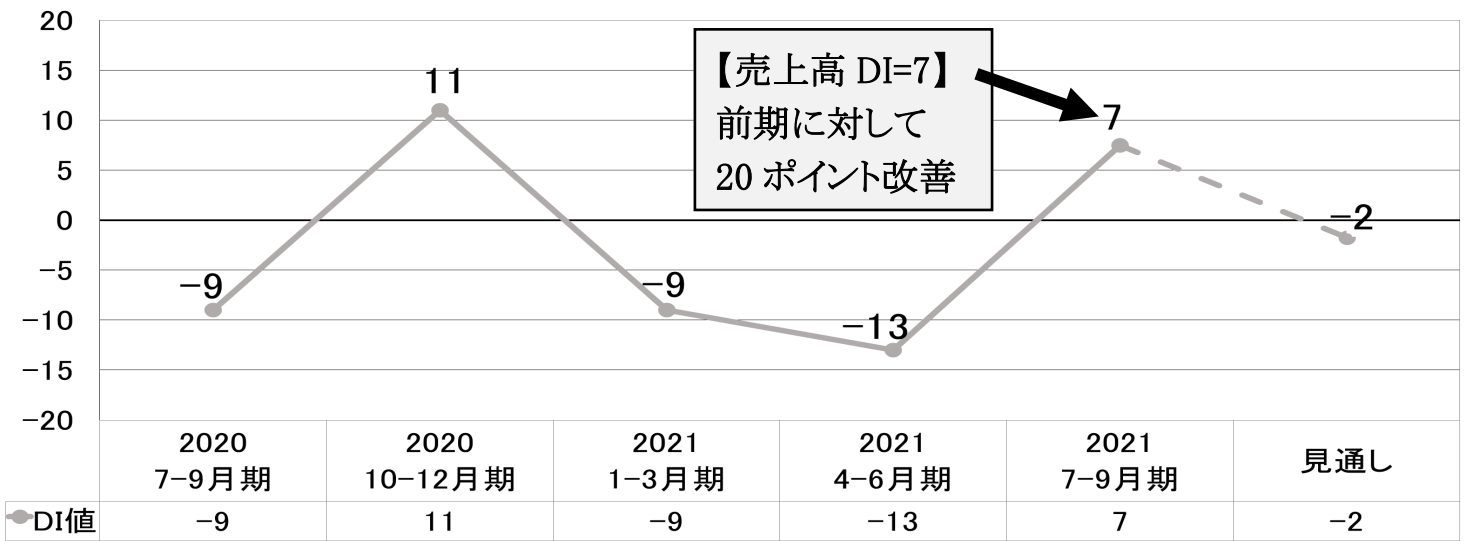
- 前期と比べて、全ての DI が改善した。
- 見通しは、従業員数 DI のみが、さらに改善する見込みとなっている。



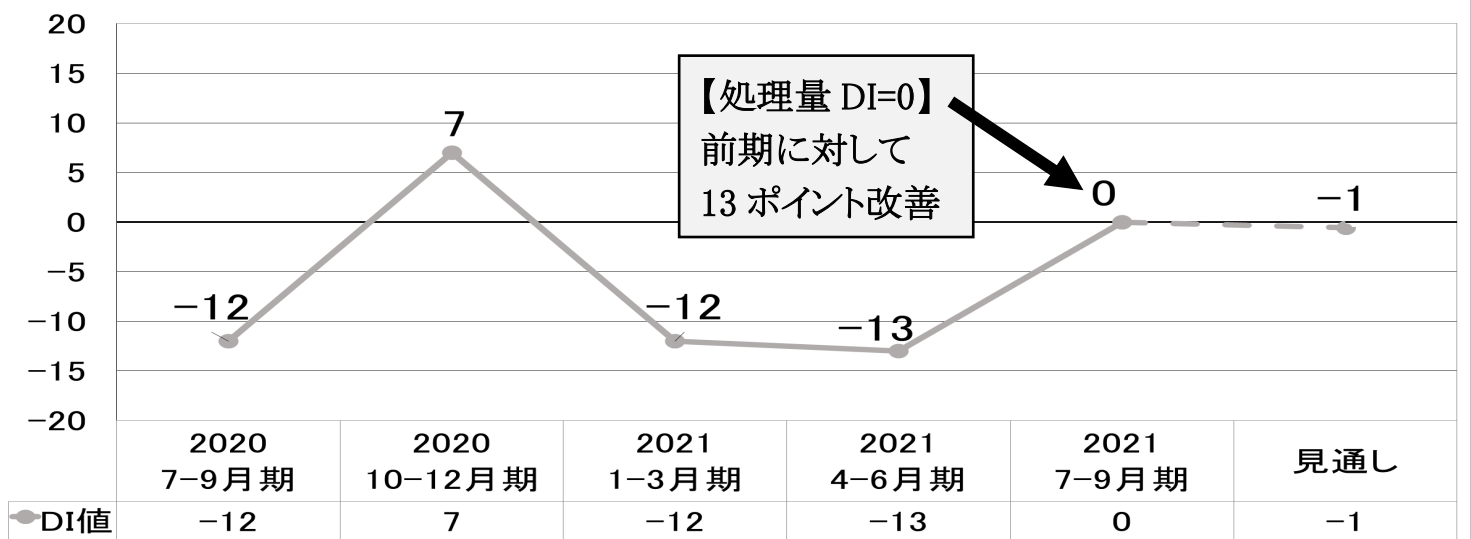
以下詳細(5~7ページ参照)

- ・売上高 DI は 7 となり、前期と比べて 20 ポイント改善した。
見通しは▲2 となり、9 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・処理量 DI は 0 となり、前期と比べて 13 ポイント改善した。
見通しは▲1 となり、1 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・営業利益 DI は 1 となり、前期と比べて 15 ポイント改善した。
見通しは▲9 となり、10 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・資金繰り DI は 3 となり、前期と比べて 4 ポイント改善した。
見通しは▲2 となり、5 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・借入難易度 DI は 9 となり、前期と比べて 2 ポイント改善した。
見通しは 5 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・設備投資 DI は▲2 となり、前期と比べて 4 ポイント改善した。
見通しは▲4 となり、2 ポイント悪化する見込みとなっている。
- ・従業員数 DI は 0 となり、前期と比べて 4 ポイント改善した。
見通しは 1 となり、1 ポイント改善する見込みとなっている。

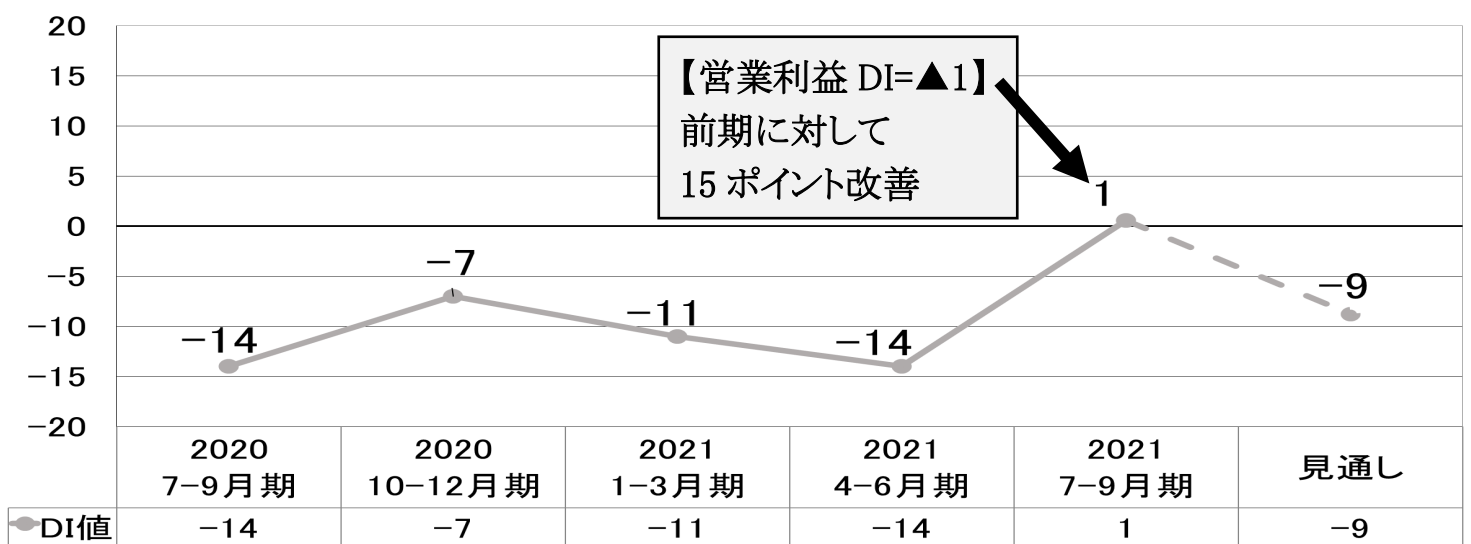
売上高DI (2020年7-9月期～2021年7-9月期と見通し)



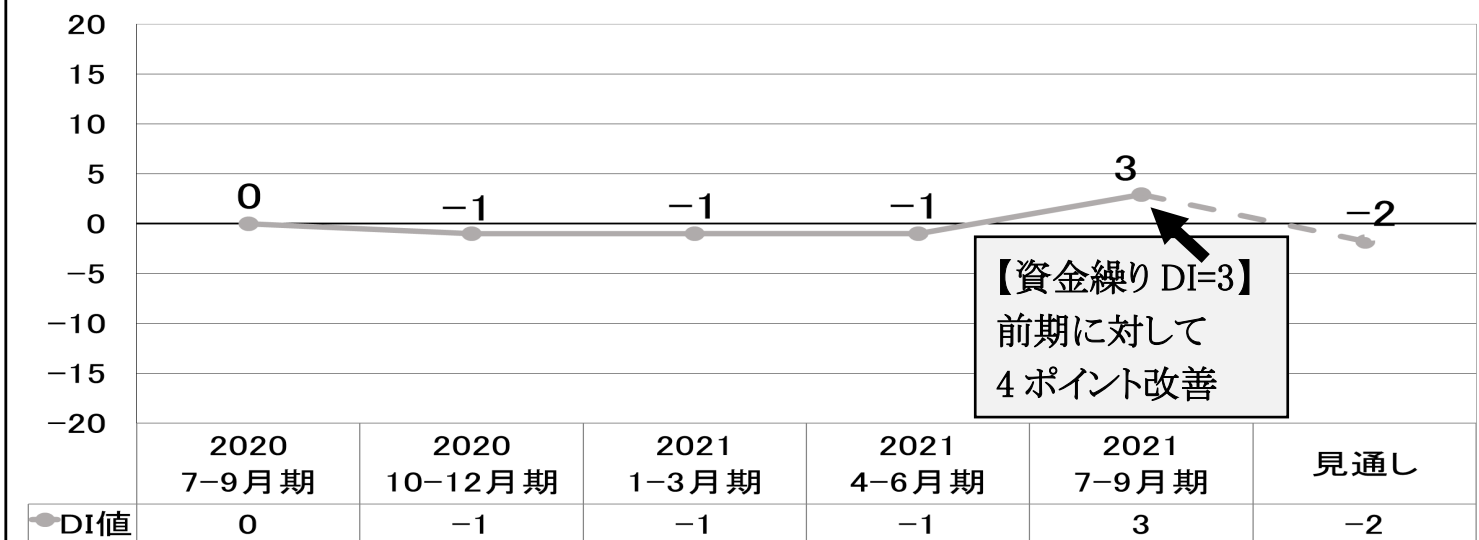
処理量DI (2020年7-9月期～2021年7-9月期と見通し)



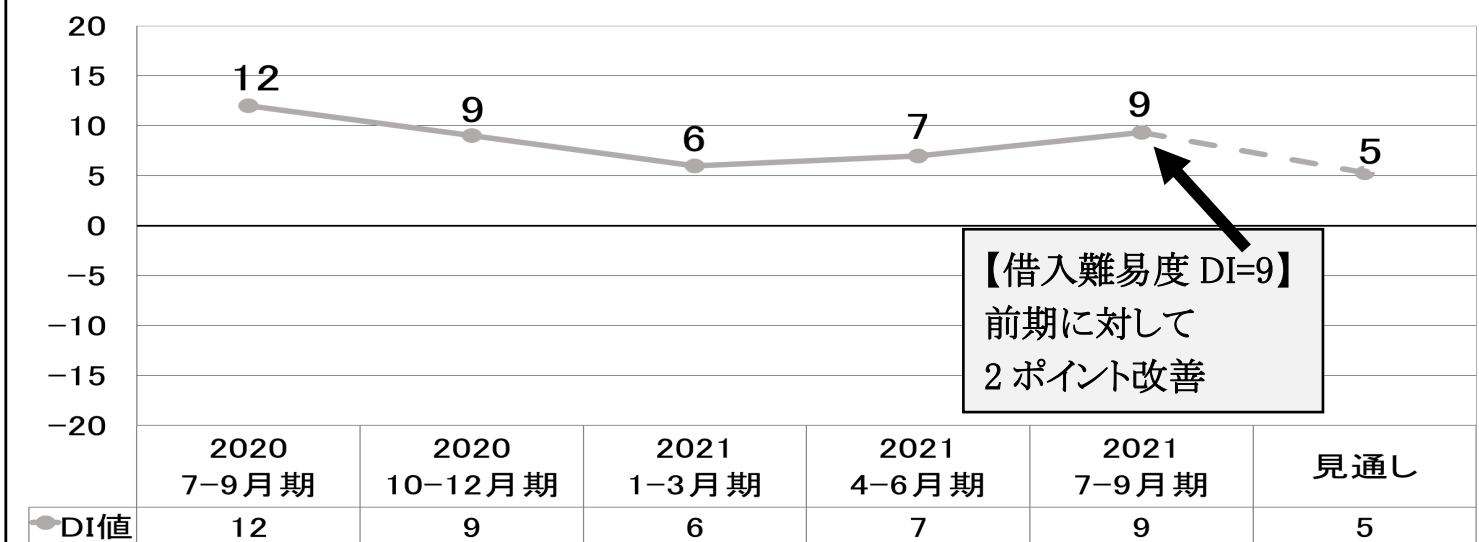
営業利益DI (2020年7-9月期～2021年7-9月期と見通し)



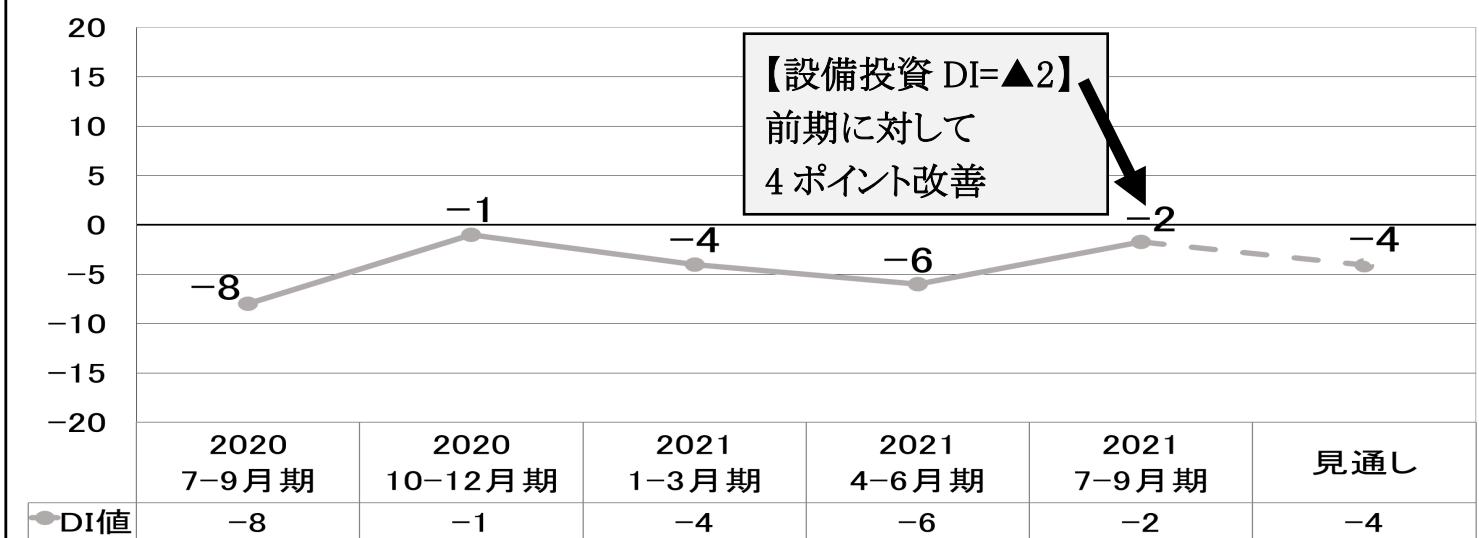
資金繰りDI (2020年7-9月期～2021年7-9月期と見通し)



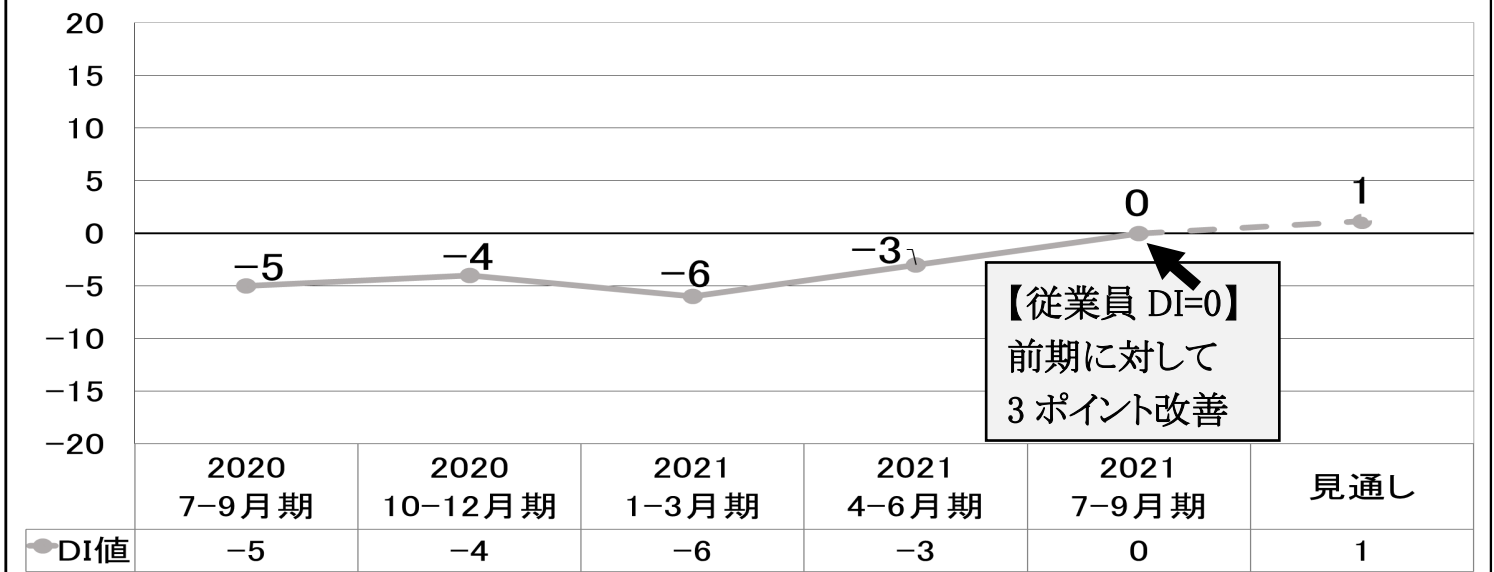
借入難易度DI (2020年7-9月期～2021年7-9月期と見通し)



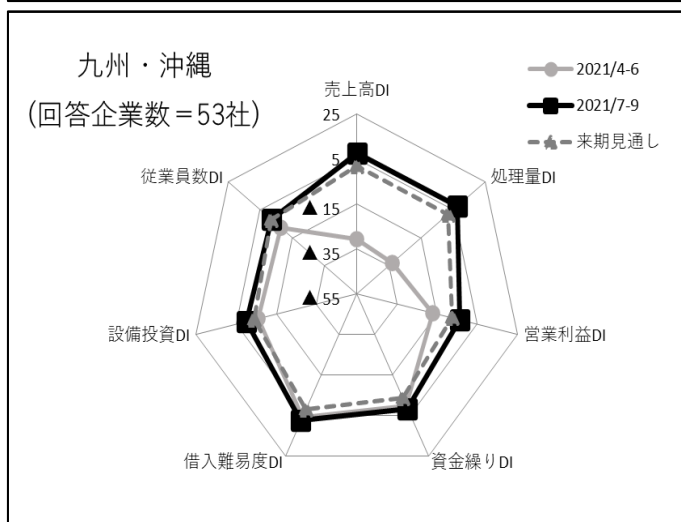
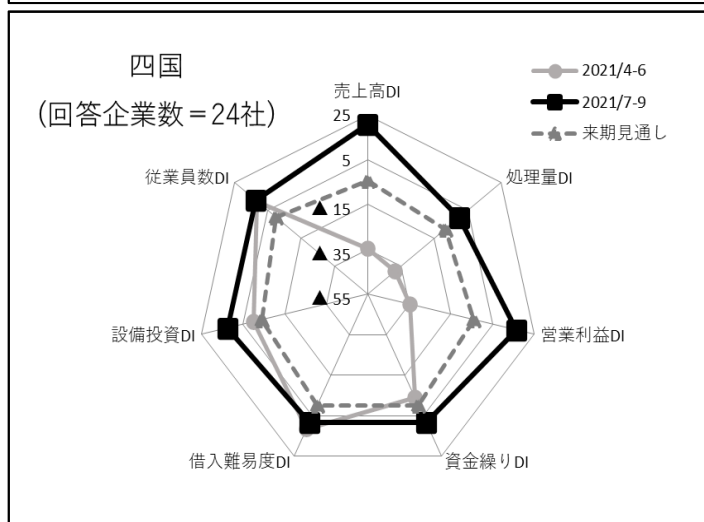
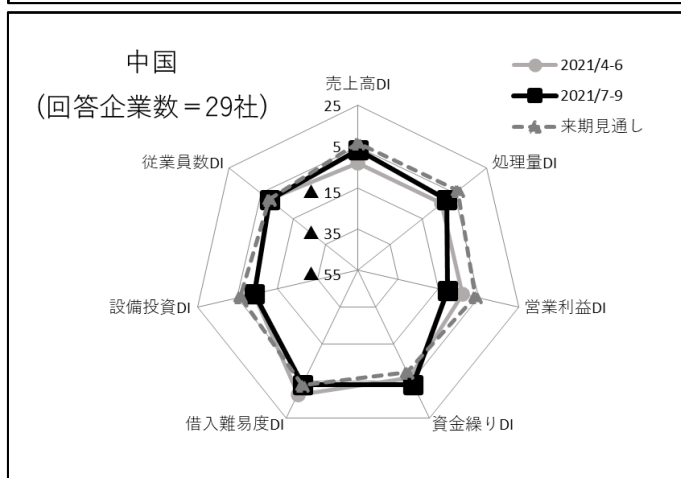
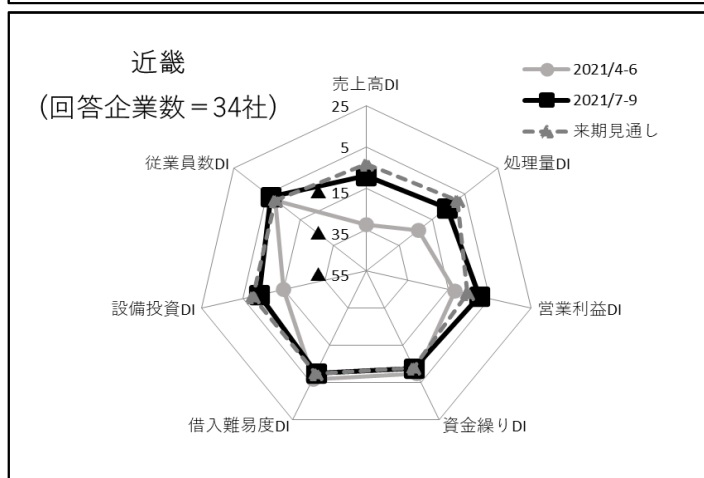
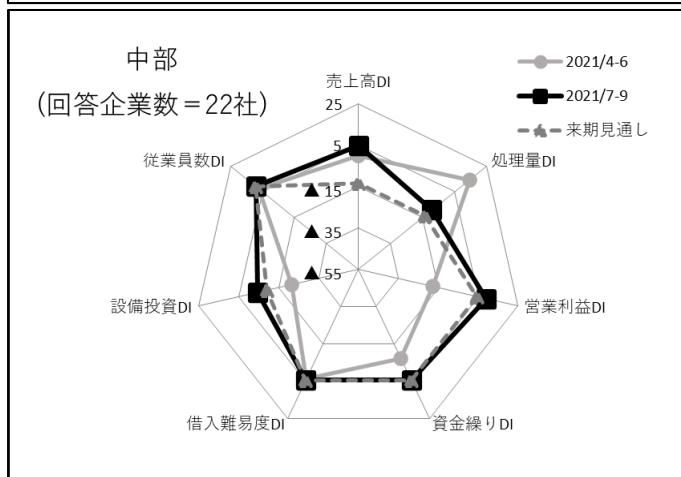
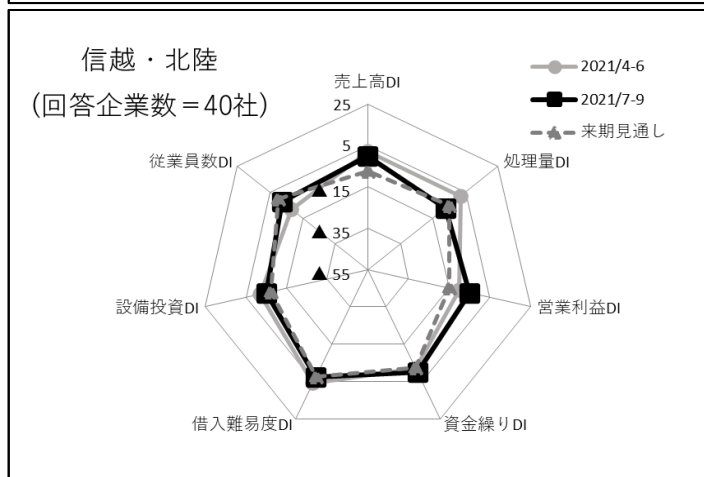
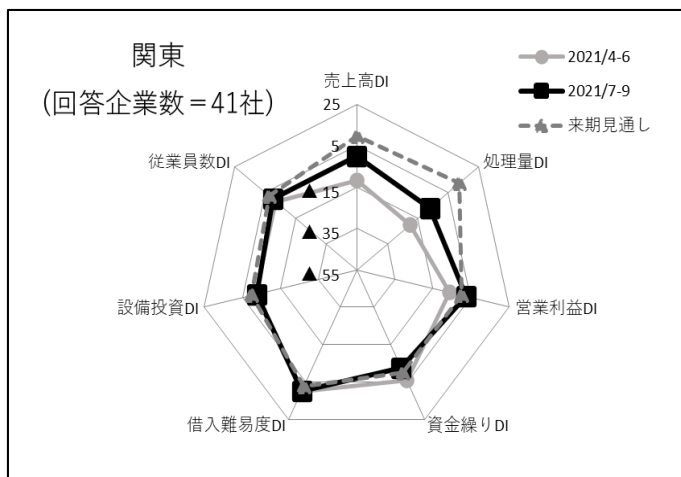
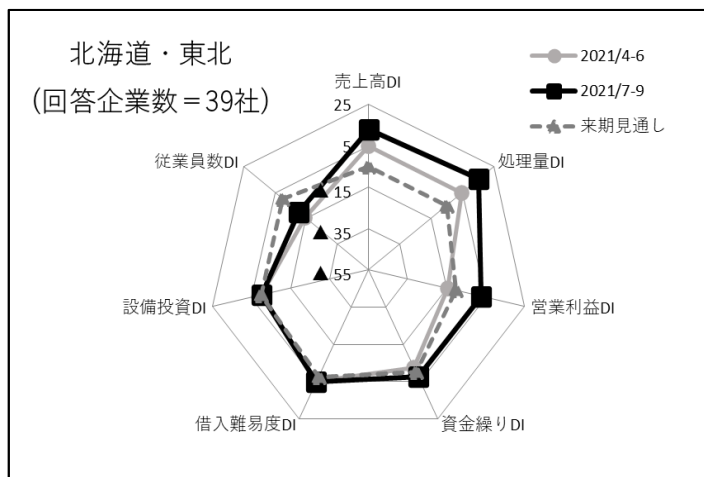
設備投資DI (2020年7-9月期～2021年7-9月期と見通し)



従業員数DI (2020年7-9月期～2021年7-9月期と見通し)

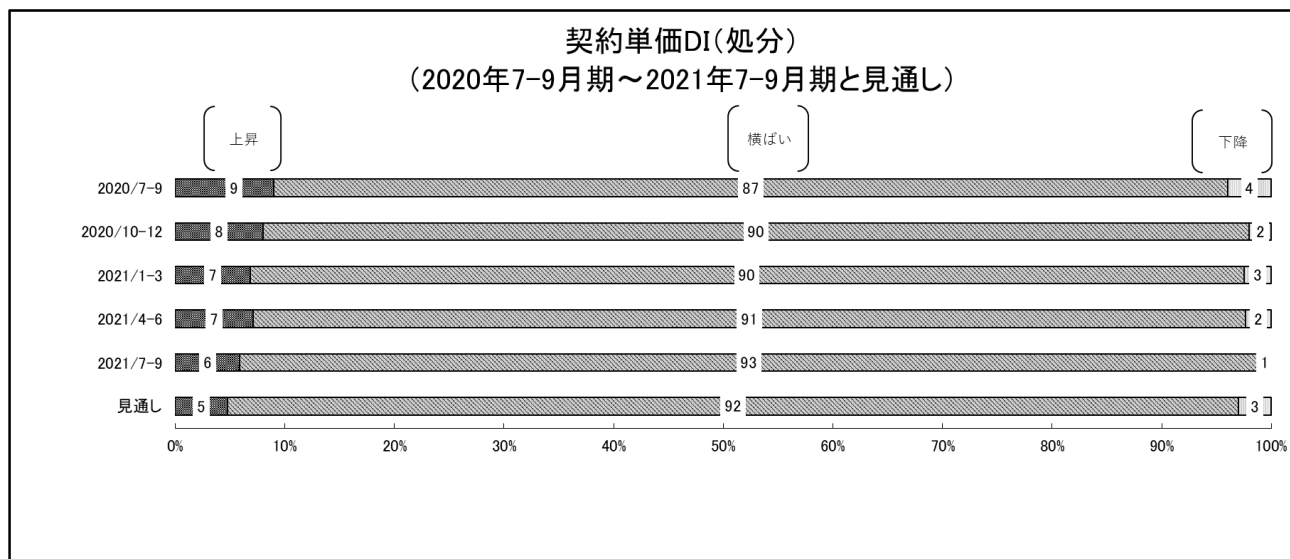
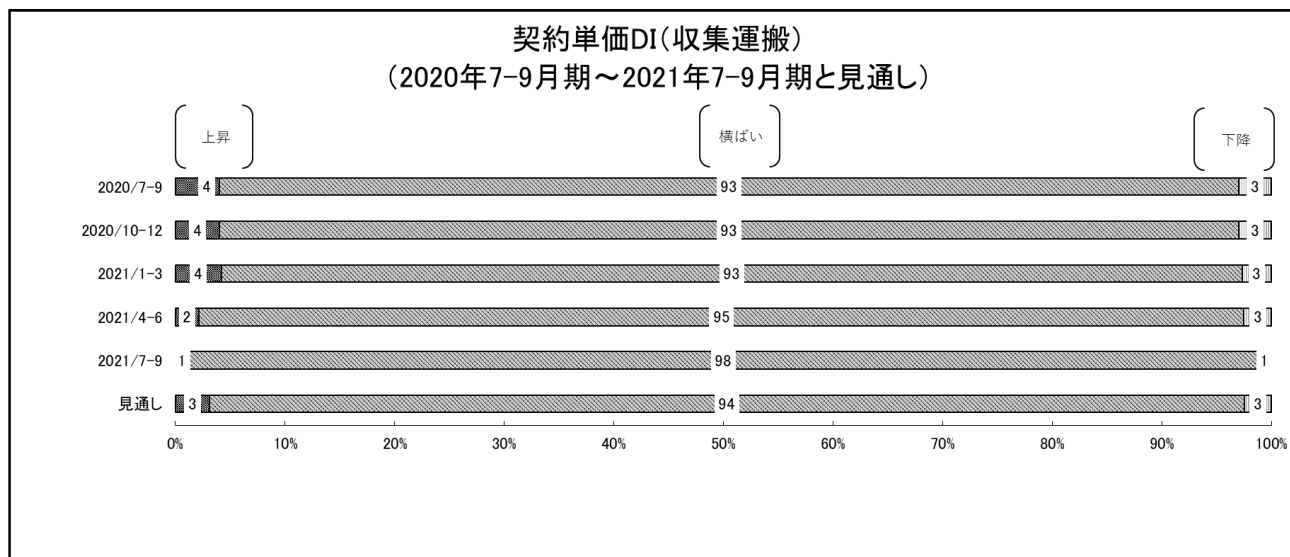


【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】



(3) 契約単価 DI

- 収集運搬の契約単価 DI は 0 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。
見通しは 0 となり、変わらない見込みとなっている。
- 処分の契約単価 DI は 5 となり、前期と変わらず。
見通しは 2 となり、3 ポイント悪化する見込みとなっている。



2. 売上高の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、7.9%増となった。

有効回答数:119社

単位:千円

前年売上高	2020年7月	2020年8月	2020年9月	平均
	4,598,926	4,360,242	4,585,925	4,515,031
今年売上高	2021年7月	2021年8月	2021年9月	平均
	4,845,253	4,630,513	5,141,115	4,872,294
前年比	5.4%	6.2%	12.1%	7.9%

3. 処理量の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、5.1%増となった。

有効回答数:124社

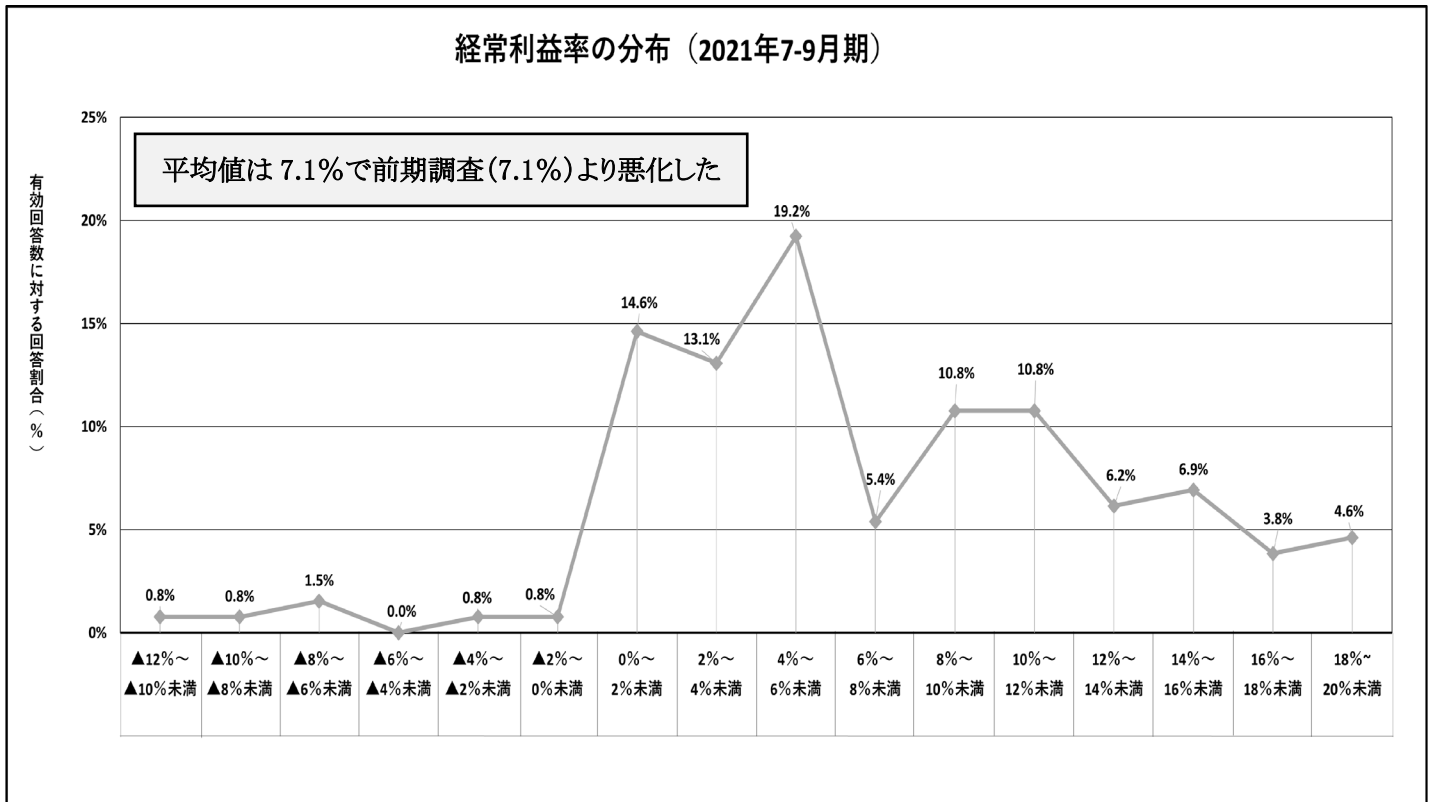
単位:トン

前年処理量	2020年7月	2020年8月	2020年9月	平均
	265,790	252,109	268,006	261,968
今年処理量	2021年7月	2021年8月	2021年9月	平均
	279,027	244,577	302,317	275,307
前年比	5.0%	▲3.0%	12.8%	5.1%

4. 経常利益率(経常利益の対売上高比率)

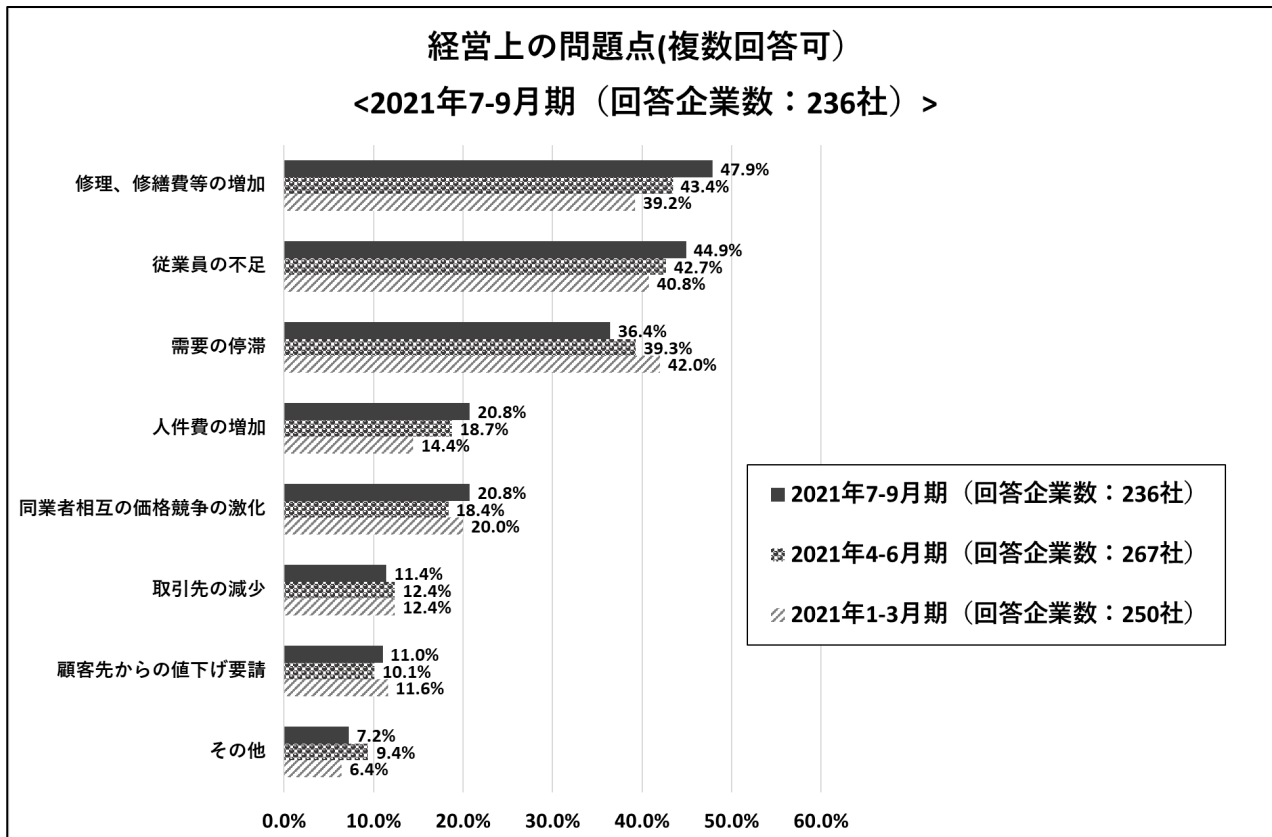
- 経常利益率の平均値は7.1%で、前期調査(7.1%)と変わらず。
- 最も回答が多かったのは、回答数25社(全体の19.2%)の「4%~6%未満」となった。

有効回答数:130社



5. 経営上の問題点(複数回答可)

- 経営上の問題点として、4割以上の会社が、「修理、修繕費等の増加」、「従業員の不足」を挙げた。
- 「その他」の記述回答の内容は、「新型コロナウイルス感染症の影響」が3割を占めた。



【その他記述回答の代表的な意見】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響(その他記述回答の30.8%)
(産業廃棄物発生量の減少、コロナ対策 など)
- ・燃料価格の高騰
- ・処分費用の値上げ

〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

(1) 調査対象者

全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員

(2) 調査期間

2021年10月8日～10月31日

(3) 調査方法

郵送及びWebによるアンケート

(4) 回答数・回答率

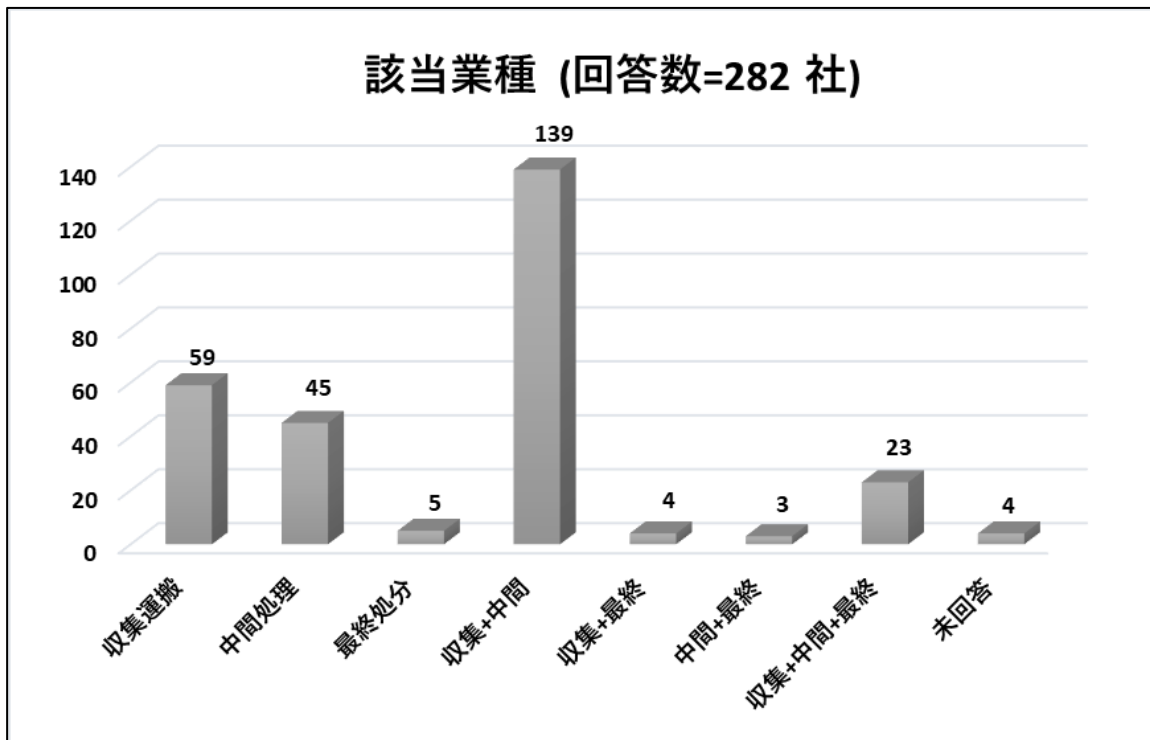
調査依頼企業数	1,016社
回答企業数	282社
回答率	27.8%

(5) サンプル構成

① 地域別構成

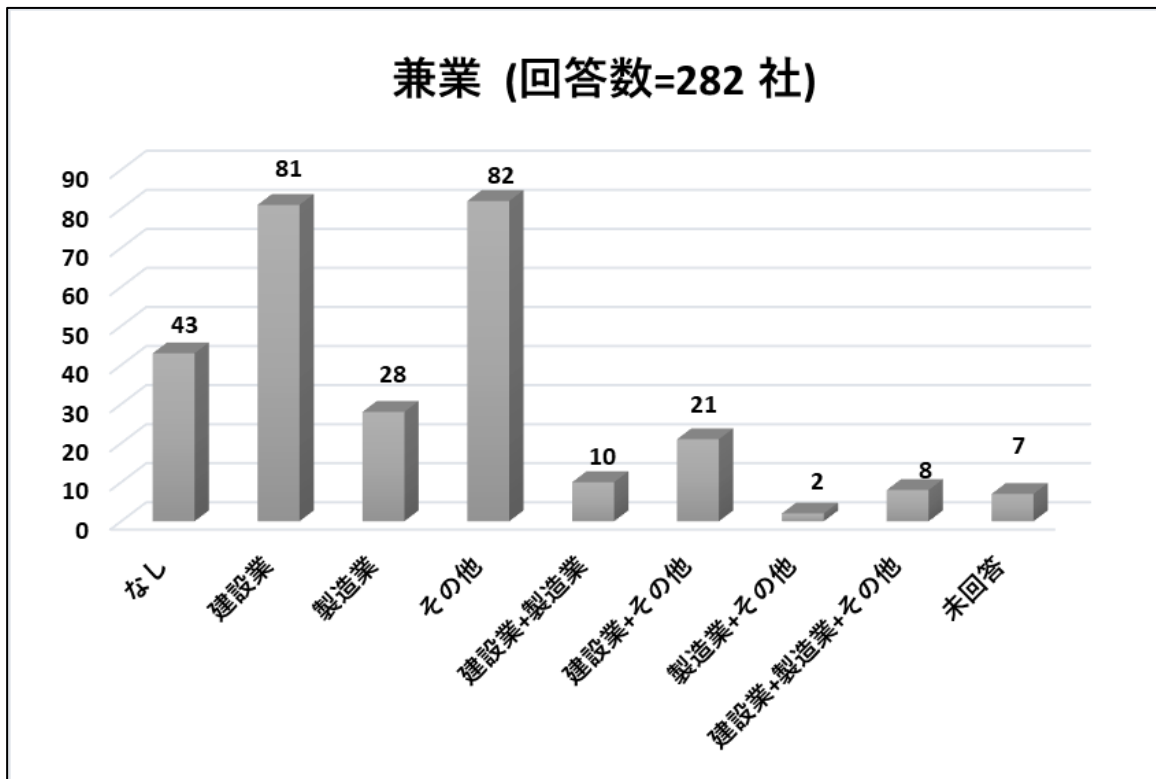
地域	企業数	構成比
北海道・東北	39	13.8%
関東	41	14.5%
信越・北陸	40	14.2%
中部	22	7.8%
近畿	34	12.1%
中国	29	10.3%
四国	24	8.5%
九州・沖縄	53	18.8%
合計	282	100.0%

② 業種別構成



該当業種	企業数	構成比
収集運搬	59	20.9%
中間処理	45	16.0%
最終処分	5	1.8%
収集+中間	139	49.3%
収集+最終	4	1.4%
中間+最終	3	1.1%
収集+中間+最終	23	8.2%
未回答	4	1.4%
合計	282	100.0%

③ 兼業別構成



兼業	企業数	構成比
なし	43	15.2%
建設業	81	28.7%
製造業	28	9.9%
その他	82	29.1%
建設業+製造業	10	3.5%
建設業+その他	21	7.4%
製造業+その他	2	0.7%
建設業+製造業+その他	8	2.8%
未回答	7	2.5%
合計	282	100.0%